



環境フェアを開催

6月9日、市立中央小学校で「環境フェア」を行い、延べ2,664人が参加しました。

フリーマーケット「寝屋川エコの市」やゴーヤや花の苗の無料配布など約30のブースが登場。

「ごみ減量・プロジェクト」啓発コーナーとして、フードドライブで集まった食品やダンボールコンポストの展示、雑紙分別体験コーナーなどもあり、「みどり・水・くらしを考える」一日となりました。



広瀬慶輔新市長 初登庁

5月29日、広瀬慶輔市長が市役所に初登庁しました。広瀬新市長は、職員や市民約300人の拍手で迎えられ、「新しい時代の寝屋川市の第一幕が始まる。様々な問題に立ち向かっていかなければならないことを皆さんに理解していただき、共に住みやすく、住んでいて便利だと感じてもらえる街をつくっていきたい」と意気込みを話しました。



幼稚園児と 大学ラグビー 部員が交流

5月17日、市立北幼稚園で、園児と摂南大学ラグビー部の選手が交流しました。

園児たちはパスやキックなどの基本プレーを学び、タックルの練習では、子どもたちが

体の大きな選手に向かって突進。ゲーム形式のラグビーでは歓声を上げてボールを追いかけていました。

同ラグビー部キャプテンの瀬戸伊織選手は「ラグビーにもっと興味を持ってくれたらうれしい。今後も地域との交流を大事にしたい」と話していました。



わんぱく相撲寝屋川場所開催

5月19日、4歳から小学校6年生までの116人の豆力士たちが、市立南寝屋川公園の土俵で行われた「わんぱく相撲寝屋川春場所」で熱戦を繰り広げました。

今回で35回目を迎えた大会は、市出身で「ふるさと大使」を務める大関豪栄道関も小学生の時に出場しました。

2年連続で優勝した11歳・小学校6年生の部の来守谷唯人(くるすたに・ゆいと)さんは「強いといわれていた同級生に勝ててうれしい。将来は豪栄道関のように大相撲で活躍できればいいな」と喜んでいました。



40年目の 開花真近？

ビクトリア・レジーナ

一生に一度だけ花を付けるという多肉植物の仲間のビクトリア・レジーナ（和名：笹の雪）が5月、高宮あさひ丘の民家の庭先で花芽をつけました。

植えたのは約40年前ですが、花芽が見つかった5月中旬からぐんぐん成長。1か月ほどで高さ約2.5メートルまで伸びました。先には無数のつぼみを付け、近所の人たちも40年目の珍しい開花を心待ちにしています。



親子でのんびり

打上川治水緑地の水鳥

木々の緑も鮮やかな打上川治水緑地で、子育て中の水鳥や幼鳥が姿を見せています。ここは多くの野鳥を間近で観察できる絶好のポイント。サギの仲間では国内最大級というアオサギの親子＝写真＝や真っ白なコサギが中洲などで羽を休ませ、愛好家の目を楽しませています。



レッツ・プラレール！

6月15日、リラットでプラレールやミニカーを使って自由に遊べるイベントを行いました。

楽しみにしていた300人を超える親子が訪れ、会場内のあちこちで思う存分、電車や車を走らせていました。

遊びに来ていたお母さんは「子どもたちがずっと夢中になっている姿がかわいい。乗り物には夢があっていいですね」と話していました。



北川市長退任「皆様のお力添えに感謝」

平成27年5月から4年間、第8代市長を務めた北川法夫市長が、5月28日、任期満了で退任しました。

退任に当たり、「市長という大役を務めさせていただけたのも、皆様方の御理解、あたたかいお力添えの賜物であり、心から感謝申し上げます」と語りました。長い間、お疲れ様でした。